

【まちづくりの基本理念】
「生まれて良かった、住んで良かった、帰ってきたい、住んでみたい」と思える元気な竹原市の実現

【まちづくりの基本的視点】

- ・人を活かす
- ・地域資源を活かす

【将来都市像】
元気と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市。



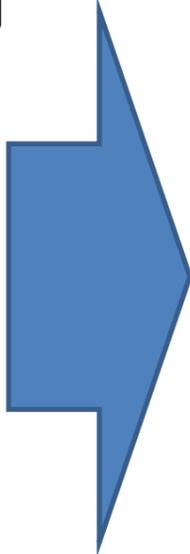
【10年後の将来像】

【将来像1】
自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち

【将来像2】
“文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち

【将来像3】
誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち

【将来像4】
瀬戸内海の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち



基本目標1
しごとをつくり安心して働けるようにする
竹原への新しいひとの流れをつくる

【数値目標】

- 転出超過数
320人 (H30) → 144人 (R6)
- 人口に対する個人の市町村民税の納税義務者数の割合
36.5% (H30) → 36.5% (R6)

基本目標2
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

- 人口千人あたりの出生率
4.04 (H30) → 5.04 (R6)

基本目標3
年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちをつくる
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

【数値目標】

- 平均自立期間（要介護2以上）
男性 79.5歳 (H29) → 79.8歳 (R6)
女性 84.9歳 (H20) → 84.2歳 (R6)
- 市の女性人口に対する給与収入のある女性人口の割合
41% (H30) → 46% (R6)
- 市の65歳以上人口に対する給与収入のある65歳以上人口の割合
25% (H30) → 25% (R6)
- 地域交流センターの利用人数
125,775人 (H30) → 140,000人 (R6)
- 観光消費額
2,847百万円 (H30) → 3,060百万円 (R6)

仕事づくり

- 1 魅力ある雇用の確保
- 2 創業の促進
- 3 地域産業の促進

移住・定住の促進

- 1 まちへの誇りと愛着の醸成
- 2 U・I・Jターンの促進
- 3 暮らしやすい環境の創出

少子化対策

- 1 出会い・結婚のサポート
- 2 妊娠・出産への切れ目のない支援
- 3 子育て支援

地域力の強化

- 1 健康なまちづくりの推進
- 2 多様な人材の活躍促進
- 3 地域を支え活躍する人材の育成・環境づくり
- 4 企業等との連携強化
- 5 関係人口の創出・拡大

まちの魅力向上

- 1 歴史・文化を活かしたまちづくりの推進
- 2 地域資源を活かした観光・交流の更なる推進

- ・空き店舗等改修補助事業
- ・森林経営管理事業
- ・鳥獣被害対策事業

- ・移住人口拡大推進事業
- ・お試し暮らし宿泊助成

- ・保育士応援給付金事業
- ・幼保小連携教育推進事業

- ・介護予防支援事業
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業
- ・たけはらときめき講座事業
- ・竹原発スタートアップ支援事業
- ・オンライン学習支援事業

- ・重伝建選定40周年記念事業
- ・観光地域づくり法人(DMO)設立事業